

わたしは、夏休みに、とよ川市がきかくしてくれた、夏休み親子見学会にさんかしました。バスに乗って、か山のリサイクル工場に行きました。

市田プラントに行ったら、か山工業のお姉さんが、工場についてせつ明してくれました。リサイクルしたガラスのもえがらや、ゴムチップをさわれる場所に入りました。ゴムチップは、思っていたよりすぐくプニプニしていました。使用しなくなったタイヤや自動車のまどわくのゴムが原りようです。人工しぼは、ほぞんざいとしてさいり用しています。次にさわったのは、ガラスです。ガラスをリサイクルすると、ビーズになることがわかりました。木せいチップは、家屋のじゅんすい木や合成パレットをはさいしてできたチップでさい紙用とねんりょうに分けて、使用されていることがわかりました。どうナゲットは、かい体工事などから出るけんせつ系はいき物にふくまれている、ひふくどう線をはさいし、どうとひふくに分別することで、せいぞうされていることがわかりました。一つぶを手のにせると重たくないけれど、たくさんのせると重たくて石みたいな重さでした。

次に、工場の中を見学に行きました。さいしよに太陽光パネルの外がわのわくをはがす作業を見ました。きかいの強い力でフレームを引っぱって外すときは大きい音がしてすぐくびっくりしました。

次に、太陽光パネルのガラスをはがす作業をしていました。小さくてかたいつぶをふきつけてガラスをはがすカバーガラスはくりそうちは、パネルに当てると、ガラスがどんどんはがれていくのがすごいきかいだと思いました。はがれたガラスを大きいのと小さいのに分けるふるいきが、分別していました。太陽光パネルのじゅみょうが二十年から三十年とされています。これから太陽光パネルのいきがふえることが予そくされています。使命を終えた後も、一枚一枚でいねいにリサイクルしていて、か山工業さんたちの努力がすごいなと思いました。

次に、本社に行きました。話を聞いてみつばちを飼育していることがわかりました。何でみつばちを飼育しているかというと、半けい三キロメートル内のかんきようがきれいでないと、にげて行ってしまふみつばちのとくせいを生かすためだと聞きました。これは、エスデージーズの十七の中の目標の一つです。

エスデージーズのある生活の中で、よりよいみ来のために、自分ができるリサイクルから始めていきたいと思いました。